

# 薩摩川内市 中小企業DX支援事業

## DX事例集



薩摩川内市

# CONTENTS

03

CHAPTER

## 01 事業詳細

CHAPTER

## 02 支援事例紹介

04

### 株式会社ア・トスフーズ

新しい顧客を掴む!AIツールを活用した販路開拓チャレンジ

05

### 株式会社ENSHARE

システム開発における要件定義の策定

06

### 株式会社橋口組

建築業の未来へ! アナログ業務から脱却する方法

07

### 中野建設株式会社

バックオフィス業務におけるデジタル化

08

### 株式会社CANFORA COMPANY

AIを活用した販路開拓チャレンジ

09

### 有限会社 にしやま食品

WEB注文が可能に!仕出し業務の新しい形

# 業務効率化や人手不足解消に取り組みませんか？

市内中小企業を対象に、企業としてのDXの必要性を理解いただき、課題の分析から目標設定、デジタルツールの活用などを専門家が支援いたします。本事業期間内は、オンライン／対面で月2回の伴走支援を無償で受けられます。ビジネスチャットツールも活用できれば随時相談対応可能です。

## STEP 01

### 現状の可視化

#### 現状把握

ヒアリングの実施と直近3ヶ年決算書（最低で直近1ヶ年）を収集。現状把握を行います。

#### 可視化

業務で扱う情報について流れ・媒体・受け渡し方法などをヒアリングします。その後、一覧表にて可視化（当社作業）いたします。

#### 課題整理

診断結果を元に課題を整理。課題によって「DXによる売上拡大」「DXによる業務改善」「DXによるリスク回避」の3テーマに沿った短期～長期の目標を設定します。



## STEP 02

### 計画書の作成

STEP1での実施内容に基づき、支援企業ごとに仮説DX推進計画を策定。経営者の意向に基づき、売上拡大、業務効率化、リスク回避の課題解決計画を立案し、KPIを設定します。計画書を作成し、経営者と実務担当にご説明し、合意形成を図ります。

その後、デジタルツールの導入支援を行い、既存ツールがあればベンダーと打ち合わせし、運用・サポート体制を整備。ツールの導入後も、自社で活用できる状態を目指し支援いたします。



## STEP 03

### 補助や制度のご案内

ITツールの導入にかかる費用の補助として、公的機関の各種補助や助成制度を支援企業へご案内。また、担当するDXアドバイザーが導入したITツール提供先と連携することでツールをより活用できる環境を整え、課題解決を支援します。



## STEP 04

### 効果測定

「DX推進度診断」を実施し、支援開始時との差異を明確にし、さらなる改善に向けたサポートを実施します。初期の可視化結果を再度分析し、実行計画や現状との乖離点など、課題を再度認識・分析し、その後の解決方針を策定。これにより、課題の明確化やDXのモチベーション向上につながります。



## 株式会社ア・トスフーズ

- 所在地 〒895-0072  
鹿児島県薩摩川内市中郷町6485-7
- 事業内容 食品加工
- 従業員数 102名



## 新しい顧客を掴む! AIツールを活用した販路開拓チャレンジ

### 参加の経緯

本事業への参加のきっかけは、薩摩川内市からの案内を受けた社長から話があり、DXの導入を進めるために参加を決めました。特に、DXを推進するにあたって、ツールの活用だけでなく、組織としての体制を整えることが重要だと考え、参加を決意しました。

### 伴走支援で取り組んだ内容

### 1 デジタル化の現状と課題の整理

- HPに問い合わせはあるが、能動的な営業アプローチができていない。
- 売上・営業目標値がないため、本事業で協議をおこなった。

### 2 営業の進捗管理の強化

- 当初はExcelでの管理が浸透しておらず、営業計画の進捗管理手法が確立していない課題がありました。これに対して適切なツールの選定と活用を進め、AIを活用したツールを導入しました。

### 3 新規開拓の実施

- メールを活用した新規開拓を進め、メールの返信率が想定5%を超え、13%に達しました。また、15件の商談につながり、今後の売上に結びつく可能性が高まりました。

### 4 組織体制の構築

- DX推進にあたっては、社長の決裁のもと、実務メンバーである営業担当者、事務担当者、そしてAさんの3名でプロジェクトを進めました。業務フローの可視化と進捗の共有を徹底し、全員が同じ方向を向いて取り組めるよう工夫しました。

### 今後の展望

#### 継続的なDX推進と組織強化

社長が一代で築き上げた会社の持続性を高めるため、DXを活用した組織の仕組み作りを進めていく。特に営業部門の自立化に向け、新規開拓を継続し、売上につなげることで、部門全体が主体的に機能する体制の確立を目指す。

#### 実績を通じた社内の意識改革

DX推進に関わったメンバーの間では「新しいことにチャレンジする重要性」の意識が芽生えた。一方で、他部門への浸透には実績の積み重ねが必要。成果を上げることで社内全体にDXの価値を認識させたい。

### 伴走支援を通しての感想

今回の伴走支援を通じて、DXの推進が単なるツール導入にとどまらず、組織文化の変革や業務プロセスの再構築が必要であることを実感しました。実際に新規開拓の成果も出始めており、会社の今後の成長に向けた良いスタートが切れました。一方で、組織全体へのDXの浸透には時間がかかるため、長期的な支援や継続的なフォローアップが必要だと思います。

### 他の企業へのメッセージ

最初は抵抗感があるかと思いますが、意外にやってみると発見がありましたので、是非、DXにチャレンジしてみてください。

# 株式会社ENSHARE

- 所在地 〒895-0076  
薩摩川内市大小路町2-10
- 事業内容 ゴルフ場のキャディ業務請負
- 従業員数 60(アルバイトパート含む)



## システム開発における要件定義の策定

### 参加の経緯

本事業への参加のきっかけは、企業連携協議会を通じ案内をいただいたことです。企業として、すでに業務効率化や新規事業に関する構想はある程度まとまっていたのですが、それを具体的に実現するための方法や適切なアプローチを確立する必要がありました。そのため、今回の伴走支援に参加することを決めました。

### 伴走支援で取り組んだ内容

## 1 業務フローの可視化

事業の現状や必要なプロセスを整理し、システム開発を依頼する業者に説明できるように業務フローを作成しました。これにより、自社の業務内容の整理が進み、具体的な改善点を明確にできました。

## 2 システム導入に向けた要件定義

社内の作業効率を向上させるために、勤怠管理とは異なる業務プロセス、特にシフト管理に関わる部分の効率化に焦点を当てました。この過程で、必要な機能や仕様を明確にして業務フローを整理し、ベンダーとのマッチングを進めました。

## 3 ベンダーとの打ち合わせ

伴走支援の成果の一つとして、業務フローを基にベンダーとの対話がスムーズに行えるようになりました。具体的なシステム要件を明確にし、導入に向けた具体的な検討を進めることができました。

成果としては、業務の流れを可視化し、システム開発に向けた具体的なステップを踏み出すことができました。また、システム導入が進めば、大幅な作業時間の削減が見込める状況となりました。



### 今後の展望

- ◎システムの導入による業務の効率化を進めることで、現在の作業負担を軽減し、より多くの従業員を管理できる体制を構築する。
- ◎具体的には、現在約45名の従業員数を60～70名に増やしながらかも、負担を増やさずに管理できるような環境を整える。
- ◎効率化により空いた時間を新規事業やさらなる業務改善に活用し、売上の拡大につなげる。

### 伴走支援を通しての感想

今回の伴走支援では、限られた4か月という期間の中で、業務の可視化とシステム化への道筋を立てることができました。支援を通じて、構想として持っていたアイデアを整理し、実現に向けたステップを具体化できた点が大きな収穫でした。

一方で、事業期間が短いため、システム開発の実装までには至らず、次のステップへの課題が残る形となりました。また、補助金の活用については、申請のサポートがより手厚くなると、より多くの企業がデジタル化に踏み切れるのではないかと感じました。

今後も、このような支援プログラムが継続され、より実践的なフォローが強化されることを期待しています。

## 株式会社橋口組

- 所在地 〒895-0055  
鹿児島県薩摩川内市西開聞町15-11
- 事業内容 土木・建築によるインフラ整備／  
住宅マンションの新築・リノベーション
- 従業員数 34名



## 建築業の未来へ！アナログ業務から脱却する方法

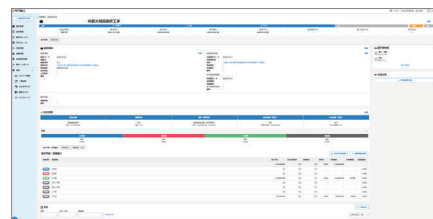
### 参加の経緯

業務の属人化やバックアップ体制の未整備といった課題を抱えており、DX（デジタルトランスフォーメーション）の必要性を感じていました。しかし、DXに関する情報が多すぎて、どの施策を取り入れるべきか判断が難しい状況でした。そんな中、商工会議所からの紹介を通じて、本事業を知り、セミナーへの参加を決めました。セミナーを通じてDXの基礎理解を深め、実際にDX診断を受けることで、より具体的な課題が明確になったことが、本事業への参加のきっかけとなりました。

### 伴走支援で取り組んだ内容

### 1 案件管理のデジタル化

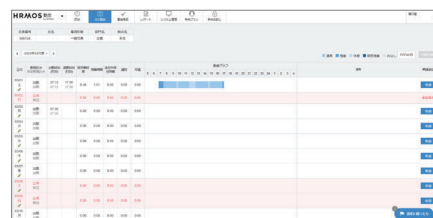
- 以前はエクセルや紙ベースで管理し、担当者が個々に情報を持っていました。
- 「サクミル」というツールを導入し、案件の進捗や請求書発行状況をリアルタイムで確認できるようになり、経理業務の効率化を実現。



導入ツール：サクミル

### 2 勤怠管理のデジタル化

- 前は紙ベースで記録し、月末に集計していました。
- 「ハーモス勤怠」を導入することで、勤怠管理が自動化され、集計作業にかかる時間を大幅に削減。



導入ツール：ハーモス勤怠

### 3 社内へのDXツールの定着支援

- ツールの導入に伴い、社内での周知・活用方法の検討を行い、従業員が抵抗なく移行できるようサポート。
- DXの第一歩として、低価格で導入しやすいツールを選定し、徐々にデジタル化の流れを構築。

### 今後の展望

今後の目標として、よりシンプルで効率的な業務管理体制の確立を目指しています。

#### 書類管理の一元化

- ◎現在、情報が分散しているため、ツールを活用して統一管理。

#### DX推進のさらなる展開

- ◎既存ツールの社内定着を進めながら、不足する機能を補う新たなDXツールの導入も検討。
- ◎よりシンプルな業務環境（デスクとPCのみで完結するような形）を目指す。

### 伴走支援を通しての感想

#### ◎期限を区切ることでスムーズに導入できた

4ヶ月という期間は短いものの、期限があることで業務改善を進めやすかった。

#### ◎ツール選定のサポートが有効だった

どのツールを導入すべきかの選定に悩んでいたが、今回の支援を通じて最適なツールを導入できた。

### 他の企業へのメッセージ

本事業の支援を受けることで、DX推進の方向性が明確になり、業務効率の向上につながりました。特に、DXに興味はあるが何から始めたらよいかわからない企業にとっては、適切な支援を受ける良い機会になると思います。また、DXツールの導入は必ずしも高額なものでなく、手軽に試せるものから始められるため、まずは一歩を踏み出すことが大切です。

# 中野建設株式会社

- | 所在地 〒896-1411  
鹿児島県薩摩川内市下甕町長浜906
- | 事業内容 建設業(土木・建築)
- | 従業員数 17名



## バックオフィス業務におけるデジタル化

### 参加の経緯

今回の事業に参加したきっかけは、市や企業連携協議会の案内でした。参加の背景には、従業員の高齢化や若手の採用難といった課題があり、時代に合わせた新しい働き方を模索する必要があったためです。デジタル化を進めることで、より働きやすい環境を整えたいという思いから、セミナーに参加し、その後の支援を受けることを決めました。

### 伴走支援で取り組んだ内容

#### 1 勤怠管理のデジタル化

- 従来はタイムカードと手書きで管理していましたが、ITツール(ハーマス勤怠)をトライアル導入。

#### 2 経理業務の効率化

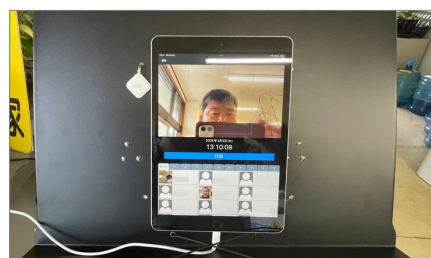
- 長年担当者が担っていた経理業務の属人化を解消するため、「楽楽精算」のトライアルを実施。

#### 3 サーバーの整理とデータ活用

- 社内データを適切に整理し、業務効率を向上させるための取り組み。
- フォルダの整理やルール設定を進め、過去データを活用しやすくする仕組みを検討。



以前は紙で打刻していた



ITツール:ハーマス勤怠、iPadで打刻ができるように

### 今後の展望

#### 若手が働きやすい環境の整備

離島での事業展開において、建設業に限らず働く場を提供し、地域の雇用を確保する。若い人が十分な収入を得られるような仕組みを構築する。

#### 建設ディレクターの採用とテレワークの活用

離島にいたなくても業務を進められるような体制を整え、本州側の人材も活用できる仕組みを検討。

### 伴走支援を通しての感想

- ◎デジタル化の必要性を再認識し、今後の方向性が明確になった。
- ◎事務作業の効率化により、現場業務に集中できる環境を作る重要性を実感。
- ◎最初は時間が取れないと思ったが、誰かが一歩を踏み出すことで会社全体の成長につながると感じた。

### 他の企業へのメッセージ

最初は、抵抗感があるかと思いますが、デジタル化を進めることでより働きやすい環境を整えたいと思う企業様には是非参加いただければと思います。

# 株式会社 CANFORA COMPANY

- | 所在地 〒895-0064  
鹿児島県薩摩川内市中郷町6900  
神園会計事務所ビル2F
- | 事業内容 情報サービス
- | 従業員数 5名



## AIを活用した販路開拓チャレンジ

### 参加の経緯

本事業への参加のきっかけは、商工会議所のセミナーへの案内を受け、興味を持ったことから始まりました。もともとデジタル化やDXには取り組んでおらず、外部からの支援も初めての経験でした。

### 伴走支援で取り組んだ内容

## AIツールを活用した新規開拓

事業運営の中でコスト上昇の課題に直面し、生成AI(ChatGPT)を活用することで、記事作成や翻訳などの業務効率化の可能性を感じるようになりました。従業員の退職があり、新規営業の機会が減少していました。そこで、AIを活用したセミナー案内のメール配信を行うことで、効率的に営業活動を展開しようとしていました。

事業支援のもと、ChatGPTを活用してメール内容の作成や配信リストの作成をおこないました。初めてのチャレンジもあり、現時点では目に見える成果は出ておりませんが今回の経験を活かし、より効果的な営業手法を模索していきたいと思っています。

自社で様々な施策を試みながら、今後進めていきたいと思っています。



### 今後の展望

会社として、教育事業の可能性を非常に感じているため、将来的には、教育事業の分野に注力をしていきたいと考えております。

### 伴走支援を通しての感想

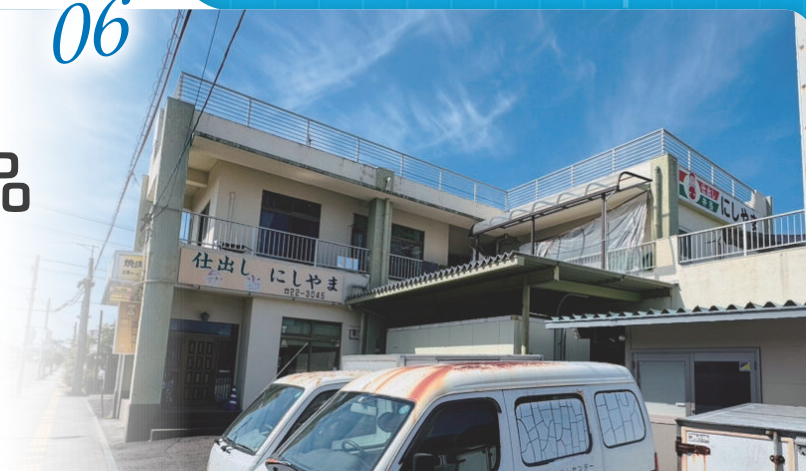
今回の伴走支援を通じて、DXの推進が単なるツール導入にとどまらず、組織文化の変革や業務プロセスの再構築が必要であることを実感しました。実際に新規開拓の成果も始めており、会社の今後の成長に向けた良いスタートが切れました。一方で、組織全体へのDXの浸透には時間がかかるため、長期的な支援や継続的なフォローアップが必要であると感じました。

### 他の企業へのメッセージ

最初は、抵抗感があるかと思いますが、デジタル化を進めることでより働きやすい環境を整えたいと思う企業様には是非参加いただければと思います。

# 有限会社にしやま食品

- | 所在地 〒895-0065  
鹿児島県薩摩川内市宮内町1892
- | 事業内容 仕出し屋、飲食店
- | 従業員数 5名



## WEB注文が可能に!仕出し業務の新しい形

### 参加の経緯

本事業への参加は、税理士の紹介がきっかけです。もともとITやデジタル技術に関する知識がほとんどなく、社長自身もデジタル化に対して苦手意識を持っていたため、考え方を変えるきっかけになればという思いで申し込みを決めました。

### 伴走支援で取り組んだ内容

#### 1 新たなルートから注文が入るようになり可能性を感じる事ができた。

#### 2 業務のデジタル化

- 紙ベースでの業務が多く、紛失や視認性の問題があったため、デジタル管理への移行を模索。
- GoogleのAIツール(Gemini)を活用し、商品のキャッチコピー作成などに活かした。

#### 3 社長と担当者が中心となり、従業員を巻き込みながら業務改革を進めた。



ネットショップ(BASE)



### 今後の展望

- ◎タブレットを活用し、紙ベースの業務をデジタル化することで、より効率的な業務環境を構築。
- ◎デジタルツールへの理解を深め、業務のさらなる生産性向上を図る。
- ◎これまでの経験を活かし、新たなデジタル施策にも積極的に挑戦していく。

### 伴走支援を通しての感想

- ◎当初は不安が大きかったが、実際に支援を受けてみると「思ったよりも取り組みやすい」と感じる事ができた。
- ◎フォーバルの支援により、社長も抵抗なくデジタル化を進めることができ、大変感謝している
- ◎デジタル化はどの企業にとっても取り組みやすい分野であり、新しいことに挑戦することが重要。
- ◎失敗しても別の方法を探せばよいので、少しでも関心がある企業は挑戦してみることを推奨する。

### 他の企業へのメッセージ

最初は抵抗感がありましたが、課題に対して自社にあったツールを提案していただけるので、専門家に相談してみてください。

お問い合わせ

[発行]

薩摩川内市経済シティセールス部経済政策課(運営事務局:株式会社フォーバル)

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

Tel : 0996-23-5111